



特定医療法人

鵬友会 ニュースレター

第2号 発行 / 2006年6月15日
特定医療法人 鵬友会
発行責任者 /
事務局長 池島 守

理事長 あいさつ

～ 「胃瘻」のママ知識 ～

鵬友会理事長
湘南泉病院長

児玉 喜直



皆様、鵬友会ニュースレター第2号発刊に際し、一言御挨拶申し上げます。
当法人は、3つの異なる病院を軸とした数多くの医療・福祉施設を備えた総合商社のような医療法人です。
横浜市の西部地域の方々に幅広く、良好な医療・福祉を提供すべく設立された法人です。
微力ではございますが、地域の皆様方に少しでもお役に立てればと職員一同、粉骨砕身努力しております。
さて、話しは変わりますが、私は湘南泉病院の院長も兼任しており、当院で行われている「胃瘻」について少しお話してみたいと思います。

胃瘻とはどんなものか？一言で言いますと、お腹に出来た第2の「口」のようなものです。
即ち、口から食事をとる代わりにお腹で食事をとる事になります。一生口から食事がとれれば、それに越した事はないのですが、長い一生上手くいくとは限りません。

特に日本人に多い脳卒中（脳梗塞、脳出血など）では嚥下障害（食物を上手に飲み込めない）になる事があります。人は食事がとれなくなったら大変です。忽ち栄養失調になり、生きていけなくなります。

口から食物が食べられないならば、何とかして胃の中に食物を入れてあげる事はできないかと考え出されたのが「胃瘻」という手術です。

お腹（腹壁）と胃（胃壁）に穴を開けて、この穴に管を通して、この管から食事（流動食）を胃の中に入れてあげれば、ちゃんと栄養がとれるはずだと言うのがその考えです。

以前は外科の医者がお腹を5～6cm切って、胃瘻を造っていましたが、今では胃カメラで造れます。傷も6～7mm位で、時間も15分～20分位で造れます。 ” お腹に穴を開けるなんて...” ” 痛いのではないかと...” ” もう年ですから...” ” といった声を耳にします。

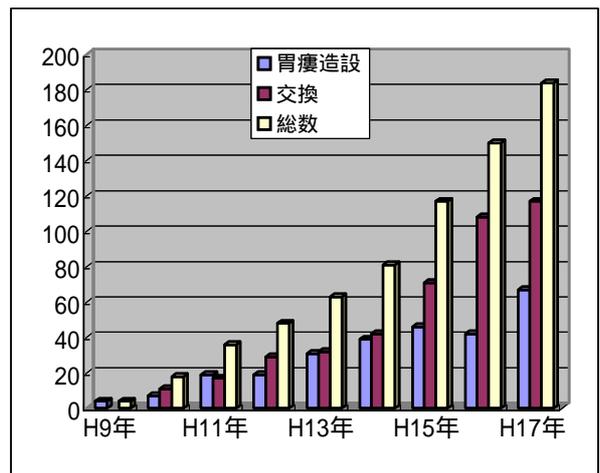
一応、胃瘻造設術と言う手術ですので痛みが全く無いわけではありません。局所麻酔と静脈麻酔を上手に使える、それ程痛いものではありません。お腹に穴を開けると言っても、小さな穴ですし、いくら年をとっているからと言っても栄養がとれなくては困ります。

他の栄養摂取法（経鼻経管法や点滴）に比べればはるかに使い勝手の良い方法と思います。

一度胃瘻を造ってしまえば後は家庭で全くの素人の方が管理できる素晴らしい方法です。

つまり、食事がとれなくなっても、家庭で生活できるという事です。詳しい事は当院外科外来で、外科の医師が説明致しますので、興味のある方は来院して頂ければと思います。

最後に当院における過去の胃瘻造設・交換数を提示致します。ちなみに平成17年度末の段階では、造設・交換の総数は、約700人となっております。



市民向け医療・福祉講座 開催

平成18年6月9日(金)14時より湘南泉病院 4階会議室にて「地域における胃瘻ケアを支援する研修会」を開催致しました。

患者様のご家族、施設の職員の方々計50名の参加人数となりました。

講座では、実際に胃瘻チューブの洗浄実演を行ったり、日々の栄養管理の説明し、胃瘻についてご理解いただけたのではないかと思います。

少しでも皆様のお役に立てるように今後も取り組んでいきたいと思っております。



総合案内

湘南泉病院受付にて、総合案内を行っております。

看護進学相談、診療相談や施設ご案内等、何でも気軽に声をかけて下さい。写真は、ほうゆう病院の高橋看護師長です。



鵬友会職員の皆様 記事募集!

- ・自慢したい事
 - ・お知らせしたい事 他
- メモ書きでもかまいませんので、ぜひお寄せ下さい。
担当者 永澤・長崎
連絡先 045-822-2288
内線 501

101歳おめでとうの会

～新中川病院 療養病棟の取り組み～ 2A病棟

今月101歳を迎えられる患者様の誕生日会を企画し、ご家族と共に楽しいひとときを過ごして頂きました。

車椅子・ベッド毎参加で、水戸黄門体操、ダンス(フラダンス)を披露し、楽しい時間を過ごしました。季節折々のディスプレイ、又、行事を催し笑顔・元気のある病棟でありたいと思っております。



一日看護体験のご案内

看護への道を目指している高校生の希望者を集めます!!

「かながわ看護フェスティバル」に伴いまして、下記にて開催いたします。

開催日 : 7月21日(金)・7月24日(月)・7月25日(火)
申込方法 : ほうゆう病院 TEL 045-360-8787
担当者 : 看護部長 横溝まで申し込んで下さい。
締切 : 平成18年6月末